

鍋横かわら版

発行：鍋横区民活動センター運営委員会
 〒164-0012 中野区本町 5-47-13
 TEL:03-3383-2733 FAX:03-3383-2734
 メール:nakano_nabeyoko@chic.ocn.ne.jp
 ホームページ:<http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp>

新しい鍋横区民活動センターの整備計画が進んでいます。鍋横区民活動センター運営委員会では、平成29(2017)年7月から新センターの建設に向けて建設検討委員会を設置し、利用者アンケートやヒアリング、他センターの施設見学を行い、11回にわたる委員会での検討結果や見学会を踏まえて地域要望をまとめ、平成30(2018)年4月に前中野区長に要望書を提出しました。その後の経過は・・・

- 平成30(2018)年5月：すこやか福祉センター併設の中野区基本方針
- 令和元(2019)年5月：すこやか福祉センターの代わりに、高齢者福祉施設(看護小規模多機能型居宅介護施設・都市型軽費老人ホーム)を合築した新たな基本方針
- 令和2(2020)年2月：**中野区基本計画案**※、地域説明会開催される

中野区の計画に地域要望が反映されていくように、今後も注視していきたいと思えます。

Q.どこに建つの？
A. 鍋横商店街の通りに面した、自転車駐輪場と高齢者集会室があるところ、住所は本町4丁目44番だよ。

Q.いつできるの？
A. 令和5年度だから3年後くらいかな

Q.どうして建て替えるの？

A. 今のセンターは昭和45年(1970)に中野区の鍋横出張所として建設されたもので、築50年経ち、老朽化が進んでいます。高齢者集会室のある分室は昭和24年(1949)に建てられた木造建築です。

中野区の家を受けて2月13日に行われた建設検討委員会では、この計画案に納得できないという声！！ ↓



鍋横の明日をつくろう！

そのⅡ 鍋横区民活動センター

人をつなぐ・まちをつなぐ

～鍋横のど真ん中に、みんなの居場所を！

鍋横区民活動センター運営委員会が中野区に提出した要望書の大きなテーマです。鍋横商店街のど真ん中に建つ予定の施設なので、地域の活性化、にぎわいの創出に皆さんがかける期待は大きなものがあります。

1階でいろいろな世代が交流できるといいわ！

子育てひろばのスペースは？

買い物帰りにみんなが自由に寄れるといいな！

倉庫が少なくない？

祭りの時やイベントに1階を使いたいな。

今のセンターの跡はどうなるの？

今の高齢者集会室のように高齢者が使えるの？

屋上緑化の提案はどうなったの？

計画案の図面を見ながら検討しています

※中野区から示された整備基本計画(案)は地下1階地上7階、地下に250台収容の自転車駐車場、1階～3階に区民活動センター、地域包括支援センターと障害者支援事業所、4階に看護小規模多機能型居宅介護事業所、5階～7階に都市型軽費老人ホームです。

▼これから・・・▲
 3月中に、中野区と鍋横商店街振興組合との話し合い、鍋横区民活動センター運営委員会建設検討委員会との話し合いが予定されています。

看護小規模多機能型居宅介護とは？

介護が必要になっても住み慣れた地域で生活できるように支援する事を目的とした「地域密着型サービス」です。「通い(デイサービス)」を中心に、必要な時に「宿泊」できるショートステイと自宅で受ける「訪問介護」、「訪問看護」を組み合わせ、自宅での生活をサポートする介護保険サービスです。「看たき」とも呼ばれています。「通い」や「宿泊」を利用している際にも看護師から医師の指示に基づいた医療処置を受けられることが大きな特徴です。サービス内容や頻度に関わらず一定の金額でサービスを受けることができます。事業所と同じ市区町村に住んでいて、要介護1以上の認定を受けた方が利用できます。

都市型軽費老人ホームとは？

軽費老人ホームとは、地方自治体や社会福祉法人などが運営している施設で、国からの助成が受けられるため、比較的安い費用で入居ができます。60歳以上で自立または要支援の方、身の回りの事は自分でできるけれども、身体的な機能の低下によって1人での生活に不安があり、家族との同居が難しかったり、身寄りがない人、というのが入居の条件となっています。入所の定員は20人以下となっていて、居室面積を狭くして利用料を低く抑え(月額10～13万円程度)、入居時の費用は必要ありません。都市型軽費老人ホームでは、見守り・食事・入浴の準備・生活相談などのサービスが提供されます。